

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

NO.1063

15.7.21

暑中お見舞い申しあげます

梅雨が明けました。水の事故や熱中症などで命を落としたというニュースを聞きます。せつかくの「ジャー」で命を落とすことのないように、また家の中でも熱中症にならないよう、こまめに水分補給するなど気を付けて暑い夏を乗り切ってください。

日本共産党 市南後援会 戦争法案反対宣伝

7月19日(日)午前10時から、日本共産党市南支部から、日本共産党市南支部の支援会は、内原のスピーク後援会は、内原のスピーク松源前で「戦争法案反対署名宣伝行動」を行いました。松源前の通りをはさんで、

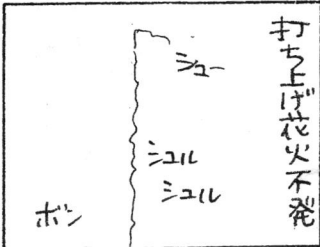
浜の宮小学校側の歩道に立ち、手作りプラカードや、市議団で発注した横断幕(初使用)を持ち、ハンドマイクで買物客や付近住民に戦争法の問題点や反対署名を呼びかけました。



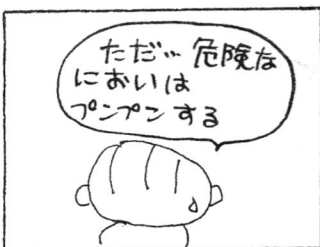
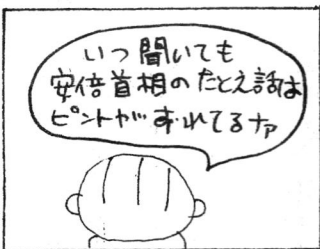
今回の宣伝では、私、ひめだがマイクで訴えたのはもちろんですが、参加者が次々と訴えました。

フツの 人々

(846)



打ち上げ花火不発



今週の フツの 人々 (その9)

その視点と訴えの切り口は、それぞれでした。さすがにいろいろな意味で年季が入った方ばかりで、そのわかりやすさと情のある呼びかけに感心しました。

行きすぎる車からの声援や近所の家から聞いている方もありました。これからこの方式を採用したいとちょっと金銭を振り当てた気分になりました。

安倍首相の打ち上げ花火 7月20日「海の日」の夜、たまたま中え島の共産党事務所留守番をしていましたとき、造まつりの花火の音に誘われ水で3階から見ると花火が遠くに10田玉くらいの大きさで見えました。きれいでしたが、音も小さく迫力もありません。

出して、日本の家の隣のアメリカの家が火事で、「はなれ」が燃えたら消しに行くのが集団的自衛権だとか何人とか、訳のわからぬ安保法制の説明をしていたことです。火事がなぜ起こるのか？そもそも無理解できない例え話が成立するのか？安倍首相の打ち上げ花火は常に不発に終わっているように思います。ただ、危険な臭いだけはフンアンしています。



ひめだ高宏

任期付市職員採用試験・案内

保育調理業務員 1人

●任用期間 2016年4月1日～2018年3月末

●保育所で給食調理及び調理事務、清掃業務等に従事

●受験資格、年齢、学歴は問いませんが、調理師免許を有する方を有する方

●受付期間

持参 8月10日(月)・11日(火)

郵送 8月11日消印有効

●第1次試験日・会場

9月20日(日)

和歌山県立西和中学校

●試験に関する問い合わせ

和歌山県人権推進委員会事務局
4305-1377

和歌山県七番丁1番地
朝日ビルディング2階(ま

で。

市つくる会総会

中村あつと市議が
の予定例議案報告

7月7日(金)18時から市教組会議室で、市議である住みよい和歌山市をつくる会総会が開かれ、日本共産党市議団の市つくる会担当として、私、ひめだも出席。市つくる会では、昨年8

月の市議選挙以後、日本共産党市議団の定期市議会報告を欠かさないことを決めた。今回の6月定期市議会報告は、中村あつと議員が行いました。市つくる会は港畑の現地見学を計画中です。

日本共産党

新国立競技場建設見直し

当初300億円だった総工費が2520億円にも膨れ上がり、各種世論調査で圧倒的多数が計画の見直しを要求している新国立競技場建設につ

いて、安倍首相がようやく見直しを表明しました。前回のロンドン五輪会場の4倍もの巨費を注ぎ込む豪華で巨大な計画を推進したのは、安倍内閣が五輪に乗じて「国王強執」の名で巨大開発や大企業支援を進める狙いがあったからです。日本共産党はこれまで、①開閉式屋根は造らず、簡素なムダのない計画にする②周辺住民の生活環境や景観に配慮する③建設費は国が責任を持つこと④明確にする⑤情報公開と民意の反映⑥五輪後の維持管理にも国が責任を持つ⑦ことを提起。日本共産党は今後もムダのない建設をめざし国民と連携して監視していきます。

潮流

2年前、秘密保護法案をめぐって安倍政権が強行採決を重ねたとき、「終わりが始まった」とい水しました。こんどは、いよいよその終りが近づいてきました▼劇的な変化がひろがっています。戦争法案の衆院通過を受けた世論調査で、安倍政権の支持率と不支持率が大幅に逆転。いずれも支持率は割りに急落する一方、不支持は5割前後に急増しています▼「毎日」や「朝日」の調査では、与党の自公による強行採決を「問題だ」「よくない」と答えた人は7割近くも。法案に反対や、今国会で成立させないことに反対、必事ないという人も、6割前後から7割近くまでのぼっています▼理解が深まるほど、危険な正体も見えてきます。自衛隊が戦闘に巻き込まれるリスクが高まるか感じている

人は8割にも。違憲ほうえに安全にも役に立たない。国民の多くが日々の暮らしにあえいでいるのに、そのちのけでこんな法案に血道を上げる。民意が離れていくのも当たり前です▼救いようがないのは、この期に及んでも安倍政権があまり高ぶっていることです。反対世論は革命的。支持率を下げてみよ、てきたのが自民党の歴史だ。NHKの日曜討論で高村副総裁が開き直っていました。衆院では与党の質問時間が短かったから必要性が理解されなかったとも▼向けられた国民多数の怒りや反対の声はすぐに消えてしまふ、説明不足も自分たちの責任ではない。主権者を見下す権力者の醜い姿は、みずから瓦解への道を早めていくだけです。

直ぐ手に取って
しんぶん 赤旗 日刊紙
3497円/月